

自然学校に行ってきました（5年生）

『一番長い間頑張りました』

自然学校の2日目の鉢伏山登山は、5年生にとって、結構きつい活動でした。仲間と声をかけ合い、励まし合いながら頂上を目指しました。下山も油断大敵です。班員全員が安全に下山できるように、仲間の足取りを気にしながら動くことができました。



登山を通して、一人一人が達成感を味わうことができました。活動の中で、「早く登れた人がすごいではありません。登る速さが速い人は、遅い人に合わせることはできませんが、逆は難しいです。班のみんなで力を合わせて登りましょう。班でどんな工夫ができるか考えてみましょう。最後の人先頭で登っていくのもいいでしょう。一番で登った人は、しんどい時間が一番短い人です。反対に、一番後に到着した人は、たくさん、たくさん、たくさん時間をかけて一番しんどい思いが長かった人です。頑張った人です。」という言葉をかけてもらいました。

凧作り

凧作りの活動から、子どもたちは、徐々に主体性を発揮してきました。積極的に友だちに声をかけ始めました。

集合が早くなりました。意識しています。



自然学校の思い出をテーマにして、凧に絵を描いていました。友達が困っていると、進んで関わっていました。



家族への手紙を書きました



3日目は、カートンドック作りに、カレーライス作り！

1日目の牛すき鍋の経験を生かして、カートンドックやカレーライス作りに挑戦しました。カレーライス作りでは、飯盒炊さんが2回目です。1回目よりも2回目と、火おこしや調理が上手になりました。



晴天の下、凧揚げを楽しみました



4日目は、キャニオニングとリーダータイム（スタンプの練習）をし、夜は、子どもたちが楽しみにしていたキャンドルファイヤーを行いました。

5日目は、5日間お世話になった宿の掃除をし、その後はリーダータイムで楽しみました。

自然学校を通して、子どもたちは、『自立・協力・挑戦』を意識して行動ができるようになりました。

帰校式の児童挨拶で、「ぼくは、最後まで話が聞けるようになりました。」と発言していました。うれしい報告です。

子どもたち一人一人が、大きく成長して帰ってきました。そして、何よりも元気に帰って来られたのがよかったです。4泊5日のこの貴重な経験を、今後の生活に生かしていってくれることを期待しています。

6年生は、今、修学旅行の準備の真っ最中です。修学旅行は、小学校生活の総まとめとして、広島に学習に行ってきます。

1年生で学んだこと、2年生で学んだこと、3年生で学んだこと、4年生で学んだこと、5年生で学んだことと、今までの学びを生かしながら修学旅行に行ってきます。

大変うれしいことに、6年生も、昨年度体験した自然学校の『集合』の仕方を覚えていました。そして、実践しています。自然学校で身に付けた『集合』の7つのポイントや話の聴き方は、いろんな場面で生かされています。積み重ねは、自分の成長につながります。楽しみです。